

熱中症の恐れがある方への対応フロー

熱中症に
注意する環境

- ・ WBGT（暑さ指数） 28度以上 または 気温 31度以上の環境下
+
- ・ 連続1時間以上 または 1日4時間を超えて実施が見込まれる作業

- ①自覚症状がある場合
②熱中症の恐れのある者を発見した場合

作業を離脱し（離脱させ）、涼しい場所で身体を冷却（させる）
※氷嚢等があれば、首、わきの下、足の付け根を集中的に冷やす

こんな症状は要注意！

【自覚症状】
めまい、筋肉痛、筋肉硬直、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

【他覚症状】
ふらつき、生あくび、失神、大量発汗、痙攣等

返答あり

自力での水分摂取

意識の異常等確認（返事がおかしい、ぼーっとしている等）

返答なし

可能

経過観察
（水分・塩分摂取）

不可

回復しない、症状悪化

・ 救急車の要請「119」

・ 医療機関への搬送
（救急要請）



要請すべきか迷う場合
「#7119」に相談。
安易に判断しない事！

上記事象が発生した場合は、シルバー人材センター（0794-82-0600）に連絡。

※仮にシルバーに連絡つかない場合でも、応急処置や救急隊要請を優先し、

周囲の方は、搬送前や経過観察時に発症者を一人にしないで下さい！